

ともに、生きる。

江戸川区

EDOGAWA

人とともに生きる。

このまちには、0歳から100歳以上の人まで様々な年齢の人たちが暮らしています。その中には、障害のある人や外国籍の人などいます。一人ひとりの「ちがいが」尊重されることが、まちづくりの源なのだと、私たちは考えます。

(ともに生きるまちを目指す条例(令和3年7月制定)の前文より抜粋)

先導的共生社会ホストタウンに認定



令和元年10月、江戸川区は先導的共生社会ホストタウンに認定されました。これは共生社会ホストタウンの中でも、より先導的・先進的なユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリーに取り組む自治体を国が認定するものです。

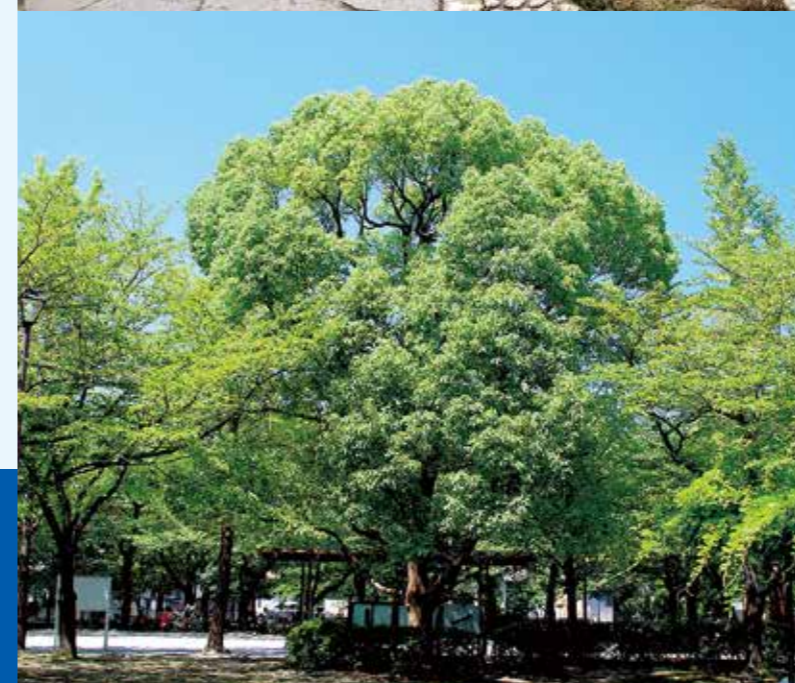
SDGs未来都市に選定



令和3年5月、江戸川区はSDGsの達成に向けて優れた取り組みを行う自治体「SDGs未来都市」に選定されました。



古川親水公園(全国初の「親水公園」)



区の木・クスノキ



区の花・ツツジ

江戸川区PR動画

江戸川区プロモーションビデオはここからご覧いただけます。



えどがわ区民ニュース

江戸川区の魅力を伝える公式動画サイト「えどがわ区民ニュース」はここからご覧いただけます。



令和4年5月改訂



誰もが安心して自分らしく暮らせるまち
江戸川区長 齊藤 猛

江戸川区は、川と海の水辺環境に恵まれ、公園が多く、都心にありながら身近に緑が感じられる自然豊かなまちです。そのような環境の中、まちには人々の温かい人情があふれ地域の絆が強く、子どもから高齢者まで多世代の方がさまざまな分野でいきいきと活躍しています。また、区内には多くの中小企業があることや農業や伝統工芸など産業が盛んなことも特徴のひとつです。今後も、先人たちがこれまで築き上げてきた地域の力を生かして、このすばらしいまちを将来世代につないでいきます。

都内唯一のラムサール条約湿地

2018年、葛西海浜公園は国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約湿地に登録されました。東京駅からわずか15分ほどの距離に位置し、バーベキューや潮干狩り、海水浴も楽しめる公園として区内外からの観光客が訪れます。



スズガモ

冬には2万羽以上がやってきます

(ラムサール条約湿地の登録要件の基準値を満たした水鳥)



カンムリカイツブリ

冬には3千羽以上がやってきます



トビハゼ



クロツラヘラサギ



チゴガニ

スズガモやカンムリカイツブリをはじめ多くの渡り鳥が越冬地や休息地などとして飛来します。この他、クロツラヘラサギなどの世界的に希少な野鳥も飛来しています。



多世代が活躍するまち

江戸川区は子育て世代が多く住む平均年齢が若いまちですが、元気な熟年者が多いまちでもあります。子育て世代が活躍できる施策や高齢者がいきいきと地域で活躍できるしゅみを整えています。

- 安全・安心パトロール隊 793団体・3万3,000人(令和3年3月)
- 老人クラブ数 188(令和3年4月)
- 自主防災組織 250団体(令和3年4月)



小松川平井地区防災訓練



安全・安心パトロール



全国初の高齢者事業団設立(現シルバー人材センター)



なごみの家での子ども食堂

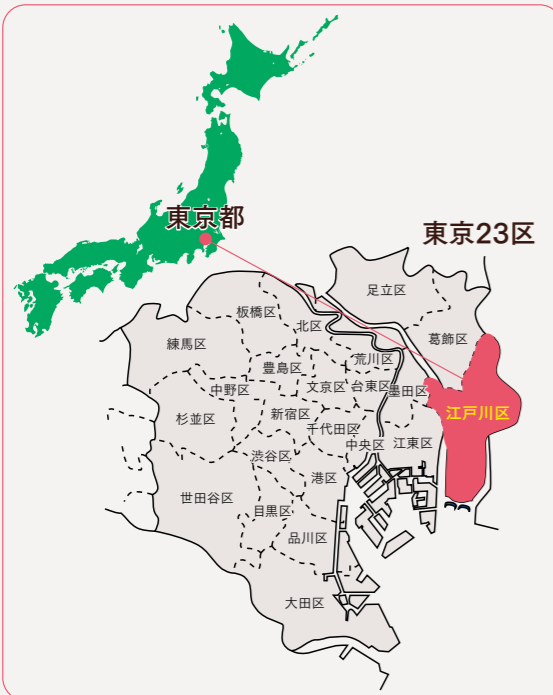


江戸川総合人生大学にここへ応援隊

概要

● 区の位置

江戸川区は東京23区の東に位置しています。



● 区域

- 面積：49.09km²
 - 長さ：東西約8km、南北約13km
- 荒川・江戸川・東京湾と三方が海・川に囲まれた水辺の都市です。

● 区の人口

- 69万6,123人(令和3年1月1日時点)
- 全国1,741区市町村のうち23番目の人口規模
- 在住外国人
都内最多3万5,000人が在住。特にインド人は国内最多です。

● 歴史

江戸川区は昭和7年に誕生しました。当初は松江区という名前が考えられましたが、江戸川にちなみ「江戸川区」と名付けられました。

● まつり

江戸川の夏の夜空を彩る江戸川区花火大会は全国でも有数の大会です。区民まつりや地域で開催される地域まつりも多数あります。

- 観客数139万人(令和元年度)
- 打ち上げ総数1万4,000発



区民まつり(開催:10月上旬)

地域を支える産業

● 花と野菜

江戸川区は「東京の花どころ江戸川」とも言われ花卉栽培が盛んです。都内第1位の出荷量を誇る小松菜の独自のレシピも生まれています。

- 小松菜収穫量(令和元年産)：都全体の約4割で、都内では1番の収穫量
- 花の出荷量：年間約40万3,000本



● 中小企業

区内には2万を超える事業所があります。小惑星探査機「はやぶさ」を打ち上げたロケットのフライト部品などを制作した企業や、活気あふれる商店街が点在しています。

● 伝統工芸

江戸風鈴、江戸硝子、染色、表装、釣りしのぶなど、長い歴史を経た伝統工芸の技術が一人ひとりの匠によって現代に受け継がれています。



● 金魚のふるさと

江戸川区の金魚養殖の始まりは明治時代。かつては金魚三大産地と呼ばれ、今でも日本トップの品質を誇っています。



文化・スポーツによる交流が盛んなまち

● 文化



のぼり 旗祭り(日本最大規模)(開催時期:7月1日)



一之江名主屋敷



世代を結ぶ平和の像(設置場所:小松川さくら公園)



ようごう 影向のマツ(善養寺)(国の天然記念物)

● スポーツ



ボッチャ(競技場所:総合体育館ほか)



カヌー(新左近川親水公園カヌー場)



リズム運動大会(開催時期:10月)



産業ときめきフェア(開催時期:11月)



フラワーロード商店街